

# 総合的な学習の時間

## 目 次

1	総合的な学習の時間の改訂のポイント	1
2	総合的な学習の時間の目標のポイント	1
3	各学校において定める目標及び内容のポイント	3
4	指導計画の作成と内容の取扱いのポイント	4
5	総合的な学習の時間の指導計画の作成のポイント	5
6	総合的な学習の時間の年間指導計画及び 単元計画の作成のポイント	7
7	総合的な学習の時間の評価のポイント	10
8	総合的な学習の時間の学習指導のポイント	10
9	総合的な学習の時間を推進するための 体制づくりのポイント	11
10	指導例	13

## 1 総合的な学習の時間の改訂のポイント

### (1) 改善の基本方針

- 体験的な学習に配慮しつつ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な活動となるよう充実を図り、思考力・判断力・表現力等をはぐくむとともに、教科と一体となって児童の力を伸ばす。
- 総合的な学習の時間の教育課程における位置付けを明確にし、各学校における指導の充実を図るため、総則から取り出し新たに章立てをする。
- 総合的な学習の時間と各教科、特別活動のそれぞれの役割を明確にし、これらの円滑な連携を図る観点から、ねらいや育てたい力を明確にする。
- 小・中・高等学校の取組の重複の状況を改善するため、児童の発達の段階を考慮し、各学校における実践を踏まえ、学習活動の例示を見直す。

### (2) 総合的な学習の時間の改訂の要点

- ① 目標及び内容の改善
  - ・総合的な学習の時間の特質や目指すところを目標として示し、この時間において育成する児童の資質や能力及び態度を明確にする。
  - ・国が示す目標を踏まえ、より具体的な目標や内容は、各学校において定めることを明確に示す。
- ② 内容の取扱いの改善
  - ・探究的な学習としての充実を目指す。
  - ・学校間の取組の状況に違いがあることを改善するために、総合的な学習の時間において育てようとする資質や能力及び態度の視点を例示する。併せて、小・中・高等学校の取組の重複の状況を改善するために、小学校では「地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動」を例示として加える。
  - ・児童の学習を一層充実したものにするため、体験活動と言語活動を共に充実させる。

## 2 総合的な学習の時間の目標のポイント

### (1) 目標の構成

#### 第1 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

目標には、総合的な学習の時間のねらいや育てようとする資質や能力及び態度を明確にし、その特質と目指すところが端的に示されている。



### 総合的な学習の時間の目標を構成する五つの要素

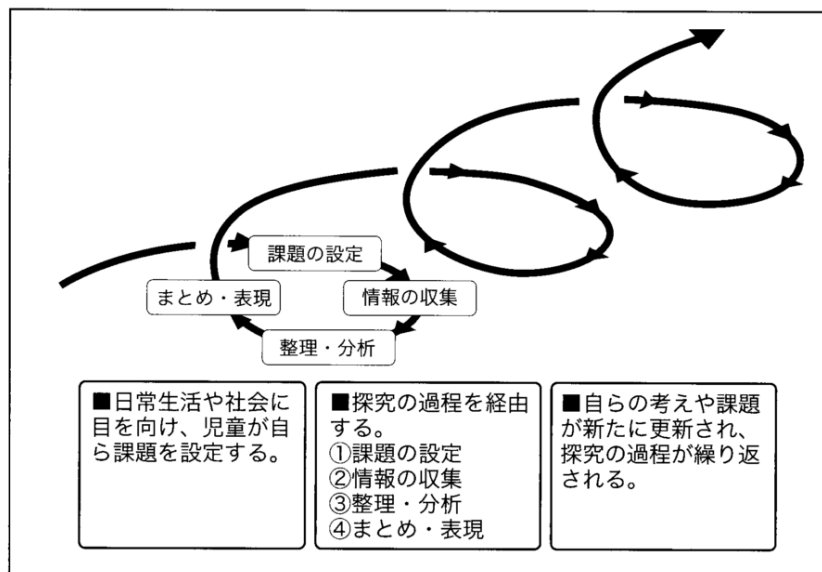
- ① 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- ② 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- ③ 学び方やものの考え方を身に付けること
- ④ 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- ⑤ 自己の生き方を考えることができるようにすること

## (2) 目標の趣旨（五つの要素から考える）

- ① 横断的・総合的な学習は、一つの教科等の枠に収まらない課題に取り組む学習活動を通して、各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活に生かし、それらが児童の中で総合的に働くようにすることをねらいとしている。

探究的な学習とは、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく下図のような一連の学習活動である。児童は、日常生活や社会に目を向けたときに湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見付け（課題の設定）、そこにある具体的な問題について情報を収集し（情報の収集）、その情報を整理・分析したり（整理・分析）、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し（まとめ・表現）、そこからまた新たな課題を見付け、さらなる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。このような物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みが探究的な学習である。

探究的な学習における児童の学習の姿



- ② 「自ら課題を見付け」とは、解決すべき問題と向き合って、自分で取り組むべき課題を見出すことである。また、「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し」とは、自ら見付けた課題に関して主体的に学習活動を繰り返し、自分なりに納得できる答えを探し求め、判断していくことである。さらに、「よりよく問題を解決する」とは、解決の道筋がすぐには明らかにならない、唯一の正解が得られないなどのことについても、自らの知識や技能等を総動員して、目の前の具体的な問題に粘り強く対処し解決しようとする

である。

- ③ 「学び方やものの考え方を身に付ける」とは、横断的・総合的な学習や探究的な学習の過程において、それらを現実の様々な状況に応じて活用し、確かにすることである。
- ④ 問題の解決や探究活動では、児童が、身近な人々や社会、自然に興味・関心をもち、それらに意欲的にかかわろうとする主体的、創造的な態度が欠かせないものであるが、今回の改訂ではこれからの社会においては、他者と協力しながら身近な地域社会の課題の解決に主体的に参画し、その発展に貢献しようとする態度をはぐくむことが必要とされることから、協同的に取り組む態度が加えられている。
- ⑤ 「自己の生き方を考えることができる」とは、人や社会、自然とのかかわりにおいて、自らの生活や行動について考えていくこと、自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていくこと、これらを生かしながら、学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えることである。

### 3 各学校において定める目標及び内容のポイント

各学校は、第1に示された総合的な学習の時間の目標を踏まえて、各学校の総合的な学習の時間の目標や内容を適切に定めて、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する必要がある。

#### (1) 各学校において定める目標

##### 1 目標

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

各学校の目標は、学校の教育目標との関連性を考慮しつつ、総合的な学習の時間での取組を通して、どのような児童を育てたいのか、また、どのような資質や能力及び態度を育てようとするのか等を明確にしたものにする。



各学校で目標を定めることを求めているのは……

- ・各学校が創意工夫を生かした横断的・総合的な学習や探究的な学習を実施することが期待されているからである。
- ・各学校で定めた目標に従って、育てようとする資質や能力及び態度を明確に示すことが望まれているからである。
- ・学校として教育課程全体の中での総合的な学習の時間の位置付けや各教科等との関連を明らかにして、この時間で取り組むにふさわしい内容を定めるためである。

#### (2) 各学校において定める内容

##### 2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

各学校は、内容として、目標の実現のためにふさわしいと判断した学習課題を定める必要がある。学習課題とは、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、児童の興味・関心に基づく課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題などのことであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究的に学習することがふさわしく、そこでの学習や気づきが自己の生き方を考えることに結び付いていくような、教育的に価値のある諸課題のことである。



#### 内容を定めるに当たって……

- ・ 児童が探究的にかかわりを深めていくひと・もの・ことなどの学習対象を明らかにする。
- ・ 学習対象とのかかわりを通して学ぶことが期待される学習事項を定める。
- ・ 日常生活や身近な社会とのかかわりを重視し、その時々により最適な学習課題が何かを、適宜、判断する。
- ・ 学年間の連続性、発展性や中学校との接続、各教科等との違いや関連性などに配慮する。

## 4 指導計画の作成と内容の取扱いのポイント

### (1) 指導計画の作成に当たっての配慮事項

- 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。
- 地域や学校、児童の実態等に応じて、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な学習、児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行うこと。
- 各学校において定める目標及び内容については、日常生活や社会とのかかわりを重視すること。
- 育てようとする資質や能力及び態度については、例えば、学習方法に関すること、自分自身に関すること、他者や社会とのかかわりに関することなどの視点を踏まえること。
- 学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。



#### 地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題とは……

地域の伝統、文化、行事、生活習慣、産業、経済などにかかわる、各地域や各学校に固有な諸課題のこと。これらの課題は、よりよい郷土の創造にかかわって生じる地域ならではの課題であり、児童が地域における自己の生き方とのかかわりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが望まれる。

- 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。
- 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。



・横断的・総合的な学習や探究的な学習が実施されていることを前提として、総合的な学習の時間において体験活動を実施した結果、学校行事として同様の成果が期待できる場合にのみ、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

- 総合的な学習の時間の名称については、各学校において適切に定めること。
- 道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳の内容について、総合的な学習の時間の特質に応じて適切な指導をすること。

## (2) 内容の取扱いについての配慮事項

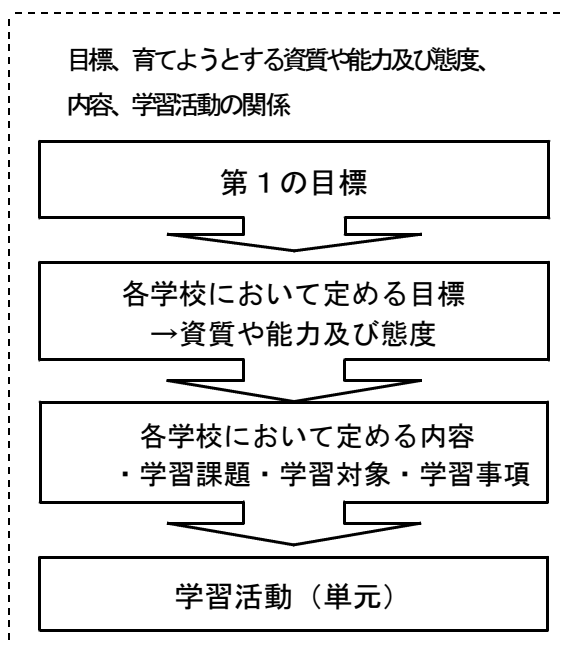
- (1) 各学校において定める目標及び内容に基づき、児童の学習状況に応じて教員が適切な指導を行うこと。
- (2) 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
- (3) 自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。
- (4) 体験活動については、第1の目標並びに各学校において定める目標及び内容を踏まえ、問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けること。
- (5) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教員が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと。
- (6) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。
- (7) 国際理解に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
- (8) 情報に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。

## 5 総合的な学習の時間の指導計画の作成のポイント

### (1) 総合的な学習の時間における指導計画

総合的な学習の時間の指導計画の作成に際しては、以下の七つについて考える必要がある。

- ① この時間を通して実現を目指す「目標」
  - ② 目標を実際の学習活動へと実践化するために、より具体的・分析的に示した「育てようとする資質や能力及び態度」
  - ③ 「目標」の実現にふさわしいと各学校が判断した学習課題等からなる「内容」
  - ④ 「内容」とのかかわりにおいて実際に児童が行う「学習活動」（実際の指導計画では「単元」、さらに単元を配列し、組織した「年間指導計画」として示される。）
  - ⑤ 「学習活動」を適切に実施する際に必要とされる「指導方法」
  - ⑥ 児童の学習状況、教員の学習指導、指導計画の評価を含んだ「学習の評価」
  - ⑦ これらの計画、実施を適切に推進するための「指導体制」
- 指導計画の作成に当たっては、全体計画と年間指導計画の二つを作成し、①～⑦の事項を少なくとも一方において明示する。



## (2) 各学校において定める目標の設定

各学校は総合的な学習の時間の教育活動が創意工夫に満ちた、豊かなものとなるよう、総合的な学習の時間の目標を慎重に定める必要がある。その際、第1の目標を構成する五つの要素を含むよう配慮することが必要である。また、この五つの要素をその趣旨において含んでいけば、各学校や児童の実態に応じて、より具体的な表現を盛り込んだり、いずれかを重点化したり、別な要素を付け加えたりすることも可能である。



### 目標を作成する作業に先立って……

- ・各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で実現を目指している部分を確認した上で、総合的な学習の時間で育てたい児童の姿を明らかにしていく。
- ・その際、児童の実態、地域の実態、学校の実態、児童の成長に寄せる保護者の願い、児童の成長に寄せる地域の願い、児童の成長に寄せる教職員の願いについて考慮することが重要である。

## (3) 育てようとする資質や能力及び態度の設定

育てようとする資質や能力及び態度とは、各学校において定める目標を、実際の学習活動へと実践化するために、より具体的・分析的に示したものである。したがって、育てようとする資質や能力及び態度には、各学校の目標が実現された際に現れる望ましい児童の成長の姿が示される。



- ・各学校において定める目標と、育てようとする資質や能力及び態度の二つにより、総合的な学習の時間の教育活動を通して「どんな児童を育てたいか」が明示される。
- ・育てようとする資質や能力及び態度は、単元の開発や学習の評価、外部への説明など、日常的に活用することが多いので、項目や表現を厳選し、日常的な使用にふさわしい分量とすることに配慮する。
- ・育てようとする資質や能力及び態度の設定は、学年段階ごとに考える必要がある。

#### (4) 学校において定める内容の設定

総合的な学習の時間においては、内容として、目標の実現のためにふさわしいと各学校が判断した学習課題を定める。



- ・内容が兼ね備えるべき要件としては、横断的・総合的な学習としての性格をもつこと、探究的に学習することがふさわしいこと、そこでの学習や気づきが自己の生き方を考えることに結び付いていくこと、などが参考になる。これらを満たす教育的に価値ある課題を、各学校の判断で内容として設定する。
- ・国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、児童の興味・関心に基づく課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題は、大いに参考にすべきである。
- ・ひと・もの・ことなどの学習対象を定めるだけでなく、学習事項までを明記し、校内で共有することにより、その単元計画において学習活動をどのように組織すべきか、さらにそこにおいてどのような支援を行うべきかなど、単元づくりや授業づくりの構想を明確化することができる。

#### (5) 全体計画の作成

全体計画とは、指導計画のうち、学校として、この時間の教育活動の基本的な在り方を示すものである。具体的には、各学校において定める目標、育てようとする資質や能力及び態度、内容について明記するとともに、学習活動、指導方法、指導体制、学習の評価等についても、その基本的な内容や方針等を概括的・構造的に示すことが考えられる。

## 6 総合的な学習の時間の年間指導計画及び単元計画の作成のポイント

### (1) 年間指導計画及び単元計画の基本的な考え方

年間指導計画とは、1年間の流れの中に単元を位置付けて示したものであり、どのような学習活動を、どのような時期に、どのくらいの時数で実施するのかなど、年間を通しての学習活動に関する指導の計画を分かりやすく示したものである。

単元計画とは、児童にとって意味のある問題の解決や探究活動のまとめりである単元の指導計画であり、具体的には、いわゆる単元指導案で示されることが多い。



#### 基本的な考え方



- ・実際に展開する中で、教員が予想しなかった望ましい活動が児童から提案されたり、価値ある学習を生み出す問題場面に遭遇したりする場合は、一層価値ある学習を生み出していくよう、弾力的に計画を修正することが肝要である。
- ・年間指導計画と単元計画は相互に関連しているので、作成に当たっては、両者の間を何度となく行き来しながら、それぞれの計画をよりよいものにしていく姿勢が重要である。

(2) 年間指導計画の作成

年間指導計画を作成する意味は、1年間という時間の中で、時間の流れを追って学習活動を構想し、その学習活動における児童の具体的な姿を想定する点などにある。また、学校行事や各教科等の学習に配慮することはもちろん、地域素材を十分に吟味して作成することが肝要である。年間指導計画に盛り込まれる主たる要素としては、単元名、各単元における主な学習活動、活動時期、予定時数などが考えられる。



年間指導計画の作成に当たって留意すべきこと

- ・児童の学習経験に配慮すること。
- ・十分な見通しをもった周到な計画にすること。
- ・季節や行事などの適切な活動時期を生かすこと。
- ・各教科等との関連を見通すこと。
- ・学年間の関連を見通すこと。
- ・弾力的な運用に耐える柔軟性をもつこと。
- ・外部の教育資源の活用及び異校種との連携や交流を意識すること。

総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画

年間指導計画 (第4学年)	
	4月 5月 6月 7月 9月 10月
総合的な学習の時間(70)	<p>大好きみどり川 ー出発! みどり川探検隊ー (28)</p> <p>○川と繰り返しかかわり、川への思いを深める。 ○活動で発見した気づき、思いを書きためる。 ○みどり川を愛する会の方と活動を共にして、みどり川への思いを知る。</p> <p>大好きみどり川 ーとことん追求! みどり川探検隊ー (30)</p>
国語(245)	<p>本と出会う、友だちと出会う</p> <p>段落のつながりに気をつけて読もう</p> <p>詩</p> <p>伝えたいことをはっきりさせて書こう</p> <p>本をだちにならなう</p> <p>本のさがし方</p> <p>調べた発見しよう</p> <p>詩</p> <p>場面を比べて読もう</p>
社会(90)	<p>すみよい暮らしをつくる</p> <p>地図の見方 ごみのしまつと利用</p> <p>水はどこから</p> <p>山ろくに広がる用水</p> <p>広がり</p> <p>のこしたいもの</p> <p>つたえたいもの</p>
算数(175)	<p>大きな数</p> <p>円と球</p> <p>わり算</p> <p>1けたでわるわり算</p> <p>資料の整理</p> <p>角</p> <p>三角形</p> <p>2けたでわるわり算</p> <p>面積</p>
理科(105)	<p>あたたかくなる</p> <p>電気のはたらき</p> <p>暑くなると</p> <p>夏の星</p> <p>月の動き</p> <p>私の研究</p> <p>私の研究</p> <p>私の研究</p> <p>ものかさと力</p> <p>星の動き</p> <p>すずくになると</p>
音楽(60)	<p>歌と楽器のひびきを合わせよう</p> <p>日本の音楽に親しもう</p> <p>・花笠音頭、神田ばやし・こきりこぶし</p> <p>いろいろな音のちがいをかきとろう</p> <p>みどり川の音を作ろう</p>
図画工作(60)	<p>たしかめながら</p> <p>ざいりょう物語</p> <p>キラキラ光る絵</p> <p>絵の具のふしぎ</p> <p>石ころアート</p> <p>みどり川の生き物</p> <p>わすれられない日</p>

### (3) 単元計画の作成

単元とは、児童の学習過程における学習活動の一連の「まとまり」という意味である。単元計画の作成とは、教員が意図やねらいをもって、このまとまりを適切に生み出そうとする作業にほかならない。したがって、総合的な学習の時間では、児童にとって意味のある問題の解決や探究活動のまとまりとなるように単元を計画することが大切である。

総合的な学習の時間の単元計画に際しては、次の二つの重要なポイントがある。

- ・児童による主体的で粘り強い問題の解決や探究活動を生み出すには、児童の関心や疑問を重視し、適切に取り扱うこと。
- ・問題の解決や探究活動の展開において、教員が意図した学習を効果的に生み出していくこと。



児童の関心や疑問をとらえ、単元計画につなげるためには……

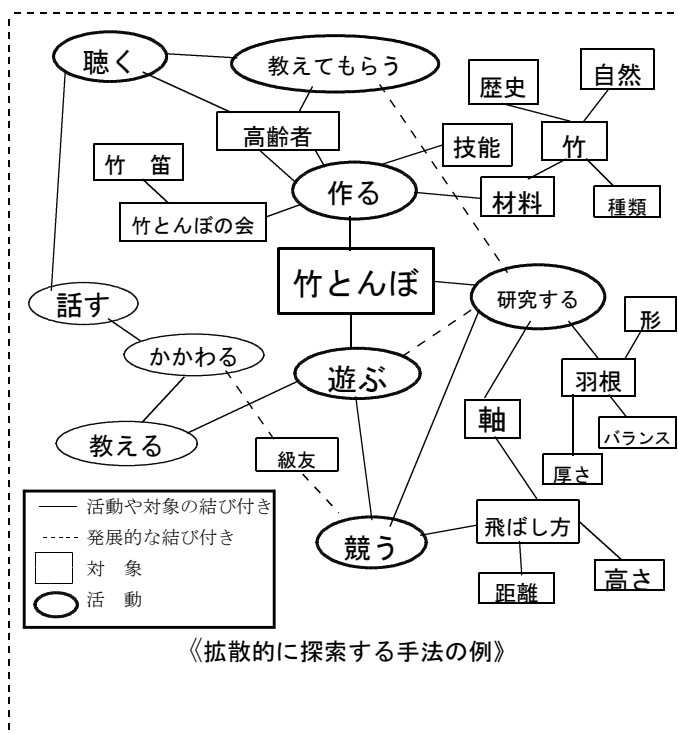
- ・児童の関心や疑問は、そのすべてを本人が意識しているとは限らず、無意識の中に存在している部分も多いととらえること。
- ・児童の関心や疑問とは、児童の内に閉ざされた固定的なものではなく、環境との相互作用の中で生まれ、変化するものととらえること。
- ・児童にとって切実な関心や疑問であれば何を取り上げてよいというわけではなく、価値ある学習に結び付く見込みのあるものを取り上げ、単元を計画すること。



意図した学習を効果的に生み出すためには……

- ・学習の展開における児童の意識や活動の向かう方向を的確に予測すること。
- ・十分な教材研究を行うこと。その際、できるだけ幅広く、拡散的に思考を巡らせていくことが重要。

児童の目線で丁寧に単元を構想する中で、各学校が設定した目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度が、確かに実現するかどうかを判断していかなければならない。特に、教員はどこでどのような意図的な働きかけをする必要があるのか、またその際に留意すべき事柄は何かなども、具体的に明らかにすべきである。



## 7 総合的な学習の時間の評価のポイント

### (1) 評価の基本的な考え方

- 総合的な学習の時間では、各学校が定めた目標及び内容を踏まえて、児童にどのような力が身に付いたのかを明確にするためにも、適切な評価をすることが必要である。また、総合的な学習の時間の評価は、各学校で適切に観点を定め、これに基づいて児童の学習活動をよりよく改善するものであるということに十分配慮しなければならない。

### (2) 児童の学習状況の評価

- 総合的な学習の時間における児童の学習状況の評価は、児童がこの時間の目標についてどの程度実現しているのかという状況を把握することによって、適切な学習活動に改善するためのものである。また、その結果を外部に説明するためのものである。そのためには、児童の学習状況についてある一定の望まれる姿を想定し、それと児童の学習状況とを照らし合わせて考え、この学習活動で育てようとする資質や能力及び態度が適切にはぐくまれ、内容が学ばれているのかを、児童の学習状況から丁寧に見取ることが求められる。

総合的な学習の時間における児童の学習状況の評価に当たっては、これまでと同様に、ペーパーテストなどの評価の方法によって数値的に評価することは、適当ではない。具体的な学習状況の評価の方法については、信頼される評価の方法であること、多様な評価の方法であること、学習状況の過程を評価する方法であることの三つが重要である。

### (3) 指導計画・学習指導の評価

- 各学校においては、他の教科等と同様に、総合的な学習の時間における指導についても適切に評価し、その改善を図ることが必要である。

指導計画や学習指導の評価に続いて行わなければならないのが、その改善である。改善の方法は、各学校の創意工夫によって具体的には異なるであろうが、一般的には「①評価の資料を収集し、検討すること」、「②整理した問題点を検討し、原因と結果を明らかにすること」、「③改善案をつくり、実施すること」、のような手順が考えられる。

## 8 総合的な学習の時間の学習指導のポイント

### (1) 学習指導の基本的な考え方

- 総合的な学習の時間の学習指導の第1の基本は、学び手としての児童の有能さを引き出し、児童の発想を大切に育てる主体的、創造的な学習活動を展開することである。

第2の基本は、身近にある具体的な教材、発展的な展開が期待される教材を用意することである。

第3の基本は、取り上げた課題に対する考えを深め、自己の生き方を考えることにつながる横断的・総合的な学習や探究的な学習となるように、教員が適切な指導をすることである。



教員の指導性と児童の自発性・能動性とのバランスを保ち、それぞれを適切に位置付けることが豊かな総合的な学習の時間を生み出すことにつながる。

## (2) 学習指導のポイント

- 今回の改訂においては、総合的な学習の時間を「横断的・総合的な学習」に加えて「探究的な学習」とすること、この時間において「協同的」な態度を育てることを、これまで以上に明確にした。

探究的な学習とするためには、学習過程が以下のようになることが重要である。

- ①【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④【まとめ・表現】気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

こうした探究の過程は、いつも①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することもあるし、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もある。およその流れのイメージであるが、このイメージを教員がもつことによって、探究的な学習を具現するために必要な教員の指導性を発揮することにつながる。また、この探究の過程は、何度も繰り返され、スパイラルに高まっていく。

総合的な学習の時間においては、特に、他者と協同して課題を解決しようとする学習活動を重視すべきである。それは、多様な考え方もつ他者と適切にかかわり合ったり、社会に参画したり貢献したりする資質や能力及び態度の育成につながるからである。また、協同的に学ぶことにより、探究的な学習として、児童の学習の質を高めることにつながるからである。



### 協同的に学ぶことの価値

- ・多様な情報の収集につながる。情報の多様さと多さは、その後の整理と分析を質的に高めるために欠くことができない。
- ・異なる視点から検討ができる。整理したり分析したりする際には、異なる視点や異なる考え方があることの方が、深まりが出てくる。
- ・地域の人と交流したり友達と一緒に学習したりすることが、相手意識を生み出したり、学習活動のパートナーとしての仲間意識を生み出したりする。

## 9 総合的な学習の時間を推進するための体制づくりのポイント

- 各学校で作成した指導計画を確実に実施していくためには、校内の指導体制の整備が欠かせない。また、質の高い豊かな学習活動を実施するための校内の体制づくりに十分配慮しなければならない。



#### 校内の体制づくりで配慮しなければならないこと

- ・校内のすべての教職員が協力して取り組む体制を整備する。
- ・それぞれの教職員の特性や専門性を生かす。
- ・状況に応じた柔軟な対応が求められることから、授業時数を適切に運用する。
- ・空間、時間、人などの学習環境を整える。
- ・保護者をはじめ、地域の人々、専門家など、多様で幅広い教育力を活用する。

## 10 指導例

### ◆第5学年の指導例

#### (1) 単元名

「森林の再生」～森林戦隊エコレンジャー～

#### (2) 単元の目標

- 自分たちの周りにおける森林環境に興味・関心をもち、森林の様子を主体的に調べたり、森林の状態がよくなる方法を積極的に考えたりする。
- 調べたことや学んだことを互いに交流し、それらを効果的な方法でまとめ、分かりやすく伝える力を身に付ける。
- 自分たちの生活と森林とのかかわりに気づき、身近な自然に愛着をもって森林環境を守っていこうとする態度を養う。

#### (3) 単元について




児童は、これまで生活科や理科の学習を通して自然とかかわり、自然のもつすばらしさを感じてきている。5年生では、社会科で人間と自然、自然と産業とのかかわりについて学習する。その中で、私たちの生活を便利にすることが環境破壊につながっていることや、外国の安価な木材を利用することで日本の林業が衰え、森林の荒廃が広がっていることを知ることになる。林業の衰えや森林の荒廃は、森林の多い奈良県ではまさに差し迫った問題である。そこで児童には、森林環境についての学習を通して現状を知らせ、森林を守っていこうという気持ちをもたせたい。

本単元では児童の興味・関心を基に、学校の敷地内にある「ふるさとの森」と呼ばれている雑木林に目を向けさせる。その雑木林は手入れされておらず、荒れたままの状態になっている。児童は、森林の学習をすすめる過程でこの問題点に気づき、「ふるさとの森」を身近なものとしてとらえ、これをよりよくしていこうという意識が芽生えることであろう。また、図鑑や「小学校用副読本『森林とわたしたちの生活』」などを用いたり、森林環境の専門家の話を聞いたりすることを通して、森林の働き・役割、日本の森林が抱える問題について考えさせたい。さらに、専門家の願いに触れることにより、「ふるさとの森」をよりよくしたいという気持ちをもたせたい。

次に、学んだことをもとに「ふるさとの森」を「どんな森にしたいか」について話し合い、自分たちのテーマに向かってできることを考えさせる。そして、枝払いをしたり、そうじをしたり、花を植えたりするという実践力へつなげていきたいと考える。さらに一人一人が「ふるさとの森」を主体的に再生し、守っていく“森林戦隊エコレンジャー”であるという意識をもち、学校行事を通して、他学年の児童や保護者、地域の人々にもその思いを伝えられるようにしたい。

ここでは敷地内に雑木林のある学校を想定し、社会科や理科など教科等との関連を図りながら探究的な活動を行う展開例を取り上げているが、そうでない学校にも、探究活動の例示として有意義なものであると考える。

## (4) 単元の展開 (全50時間)

児童の活動と意識の流れ	指導上の留意点
<p style="text-align: center;">「ふるさとの森」を調べよう。(10時間)</p> <p>(1) 「ふるさとの森」へ出かける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">木の種類がいっぱいだね。でも、図鑑を見ても名前が分からないな。</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">蚊がいっぱいやだな。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">くさっている木もあるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">この森は元気な森なのかな。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">木の名前を知りたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">森林のことにくわしい人はいないかな。</div> </div> <p>(2) 森林インストラクターの話を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">木の名前は、葉・木肌・実などをもとに判断するんだ。</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">元気な森かどうかをみんなで考えたいな。</div> </div> <p>(3) 「ふるさとの森」の樹木を調べる。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">&lt;「ふるさとの森」にある樹木&gt;</p> <p>サクラ イチョウ ケヤキ イロハモミジ マツ クヌギ コナラ カシワ ヒイラギ ナンテン クスノキ ヒノキ サカキ など</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠足で訪れた鶴見緑地にある「生き生き地球館」で世界の森林環境の現状を学習し、学校の敷地内にも雑木林があることを意識させる。</li> <li>○ 図鑑を準備し、調べることができるようにしておく。</li> <li>○ 森林のことに詳しい県立野外活動センターの「森林インストラクター」を紹介し、話を聞いてみたいという意欲を高める。</li> <li>○ 興味をもって話が聞けるよう、野外で学習する。</li> <li>○ あいさつなど、外部の方に対する礼儀も大切にさせる。</li> <li>○ グループごとに図鑑を準備し、調べることができるようにする。</li> <li>○ 図鑑や小学校副読本「森林とわたしたちの生活」を準備しておく。</li> <li>○ 分かった樹木の名前をテープに書き、木に付けるように指示し、樹木に親しみをもたせる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">「ふるさとの森」は元気な森か考えよう (10時間)</p> <p>(1) 「ふるさとの森」が元気な森かどうかを話し合う。</p>	

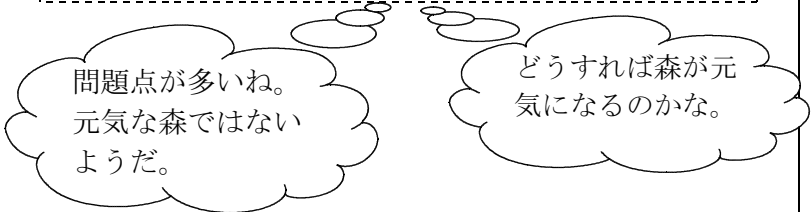
<いいところ>

いろいろな種類の植物が育っている  
 森の中は涼しい                      木の種類が多い  
 生き物がいっぱいいる

<問題点>

くさっている木がある              雑草が多い  
 日当たりが悪い                      じめじめしている  
 ゴミが捨てられている

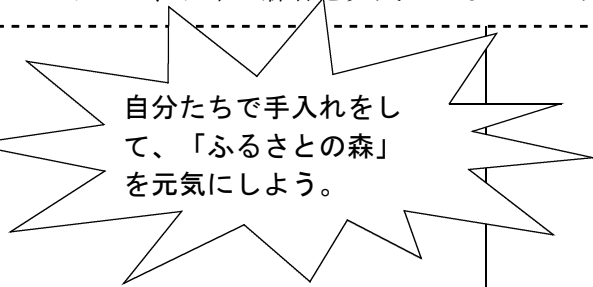
○ 調べて気付いたことや思ったことをグループで話し合い、全体へ広げるようにする。



(2) 県立野外活動センターへ行き、森林インストラクターから森についての話を聞く。(学校行事の中で計画する際には、「総合的な学習の時間」として2時間程度の扱いとするとよい。)

○ 森林インストラクターと綿密に打合せをしておく。

○ 森の役割は、水をたくわえたり土砂くずれを防いだりなど、色々あるんだな。  
 ○ 日本の森林は減っていると思っていたけど、少しずつ増えているなんてはじめて知った。でも世界の森林は減っているんだな。  
 ○ 値段の高い日本の木を使わなくなったから、手入れをしたり、木を切ったりしなくなったんだ。だから、日本の森林は、木が多くなり過ぎて暗くなり元気がないんだ。  
 ○ 手入れをしたり木を切ったりして、日本の森林を元気にしないとイケないな。

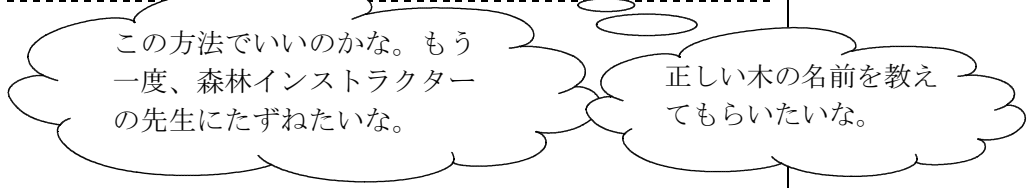


「ふるさとの森」を元気にする方法を考えよう (10時間)

(1) 「ふるさとの森」を元気にする方法を話し合う。

くさっている木を切る      ゴミを拾う      そうじをする  
 日光を入れるために木や枝を切る      ベンチを取りかえる  
 蚊を減らすために湿気をなくす      落ち葉を拾う  
 コケをはぐ      草引きをする  
 花を植える

○ 森を元気にする方法かどうかを吟味するよう話す。





## (2) 森林インストラクターに質問する。

かげを作っている木やふれ合っている枝は切りましょう。

やはり日当たりをよくするのはいいんだ。

落ち葉はふよう土になります。だから、きれいに拾わなくてもいいんです。



コケは木を守っているのです。

落ち葉は、木の養分になるんだ。

木のコケをとってはいけないんだ。

森を元気にするだけでなく、みんなでどんな森にしたいか考えることが大切なんだ！

## (3) 「ふるさとの森」をどんな森にしたいのかを話し合い、テーマを決めて計画を立てる。

<どんな森にしたいか>

- みんなが行きたい森、遊びたいと思う森にしたい。
- 太陽の光が入る、明るい森にしたい。
- 生き物がいっぱい集まる森にしたい。



<テーマ>

明るくきれいで、人も生き物も集まる森

<こんなことをしよう>



- 草やササを刈ろう。
  - 森が元気になる。きれいになる。
- 細い木や病気の木を切って木と木の間を空けよう。
  - 木が大きくなる。
- 枝を切って日当たりのよい森にしよう。
  - 森が明るくなる。
- 樹木プレートを作って付けよう。
  - 木の名前を知ってもらえる。
- 巣箱を作って付けよう。
  - 鳥たちが集まって来る。
- ベンチを置こう。

- 森を元気にするための方法を積極的に発表するように促す。

- 森を元気にするだけでなく、どんな森にしたいのか、その理由や実施方法を記述できる用紙を用意する。

- 森林インストラクターに聞いたことをもとに、自分の意見を発表するように促す。

- 準備物についても考えるように助言する。

→ みんながやって来て、休んでもらえる。



「ふるさとの森」のことを全校のみんなに知らせれば、みんなが集まる森になる。

※特別活動との関連を図り、学校行事等で実践することを想定している。

### 「ふるさとの森」のことをみんなに伝えよう（20時間）

- 「ふるさとの森」にある木や葉などを写真で紹介する。
- 県立野外活動センターで学んだ「森林の役割」を絵と文章に表して伝える。
- “森林戦隊エコレンジャー”が「ふるさとの森」をよりよくする劇をして、「ふるさとの森」の現状を伝える。
- これからの自分たちの取組を模造紙大の壁新聞にして伝える。実践して気付いたこともまとめるようにするとよい。



この葉は、何の樹木の葉か分かりますか。これは、イロハモミジの葉です。葉がさけているところを「イ、ロ、ハ」と数えたことからこの名が付いたそうです。

- まとめ方について、よいアイデアは全体で紹介する。
- 自分や友達の発表を評価するためのシートを配布する。

混み合っている木

「このようにせまい状況が20年も続いています。お互いの枝がくっつき合って、毎日けんかでこりごりなんです。」



エコレンジャー

「枝打ちをすればいいんだ。根元にも日が当たるようになったら。これでもう大丈夫！」

エコレンジャー

「それは大変だ。心配しなくてもいいよ。すぐに楽にしてあげよう。」

混み合っている木

「ありがとうございます。おかげで楽になりました。」

- みんなにうまく伝わったか振り返る。

- 発表後に、シートを基に活動を振り返り、交流し合う。

## ◆第6学年の指導例

### (1) 単元名

「地域の遺産は宝物」～守っていくのは、そこに住んでいる私たち！～

### (2) 単元の目標

- 地域に残る遺産に関心をもち、その価値に気付くとともに、意欲的に見学したり、それらを守っていくための方策について積極的に考えたりする。
- 調べたことを効果的な方法でまとめたり、友達と意見を交流したりすることを通して、地域に対する自分の考えを練り上げ、それらを分かりやすく伝える力を身に付ける。
- 身近な地域に誇りをもち、今後自分が積極的に地域とかかわりながらよりよく生きようとする意欲や態度を養う。

### (3) 単元について

地域に残る建造物や石碑、地蔵などは、そこに住んでいる児童にとってはあまりにも身近すぎて、その歴史的価値には気付いていないのが実状である。奈良県には世界遺産が3か所（古都奈良の文化財・法隆寺地域の仏教建造物・紀伊山地の霊場と参詣道）もあるが、これらについても同様である。6年生になると、社会科で歴史学習が始まり、時間的な流れの中で奈良にある世界遺産の価値が理解できるようになる。その一方で、これらの遺産は、未来へ大切に残していくために世界遺産として登録されたはずであるのに、登録されるやいなや観光客が押し寄せ、様々な問題が起きているのである。世界遺産でありながらも傷みが激しくなり、「危機遺産」となっているものが世界には多くある。奈良の世界遺産も例外ではなく、児童に、ふるさとである奈良を自分たちが守っていききたいという思いをもたせたいと願っている。

そこで、本単元では、「古都奈良の文化財」を取り上げ、それぞれの価値を深く探るとともに、それらが世界遺産として長く守られてきたのには、多くの人力があつたということを実感させたい。また、世界遺産としての価値が失われていく要因について調べたり考えたりする中で、世界遺産を守るのもこわすのも人であることに気付き、そこに住む自分たちには世界遺産を守っていく責任があるということを感じさせたい。そのために、保護にたずさわる人物を取り上げるなどして、何もしないでは世界遺産を守ってこれなかったことや、これからも守っていけないことを考えさせたい。また、観光客にアンケート調査を行ったり、世界の「危機遺産」の現状を調べたりすることを通して、どのようにして奈良の世界遺産を守っていけばよいか、そのために自分たちにできることは何かを話し合い、自分の考えを深める活動を取り入れたい。さらに、自分たちの学習の成果や世界遺産を守っていこうとする思いを、地域の人たちや奈良を訪れる観光客に知ってもらおう活動を計画、実施させたいと考えている。

ここでは東大寺の大仏を調べる活動を出発点とした展開例を取り上げる。



やっぱり聖武天皇の思いを受け継いで大仏さまを復興したのは、重源上人と同じなんだ。

大仏殿の柱の大木を木津から運ぶために、1000人をこえる奈良の人々がひいた。

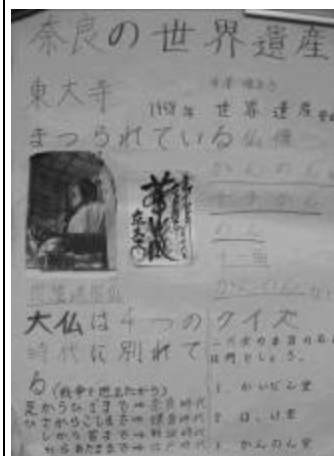
1300年前の聖武天皇の思いを大切にしながら守られてきた東大寺だから、世界遺産としての価値があると思う。

### 聖武天皇の思いを中心に東大寺についてまとめよう（10時間）

調べたり聞いたりしたことをまとめて発表し合う。

- ・一人のお金持ちや権力者によって造られたものではなく、一人一人の小さな力を集めて造ったところがすごい。
- ・壊れても、何度も修復していく力強さが感じられる。
- ・聖武天皇の思いが、ずっと受け継がれているところがすごい。
- ・各時代で、大仏さまを大切に守ってきた人たちがいたからこそ、世界遺産として認められるまでになったんだ。
- ・大仏殿の前にある八角灯籠が酸性雨によって被害を受けていたなんて初めて知った。
- ・こういうものが身近にあるなんて、うれしい。

- 写真などの資料を効果的に使って模造紙にまとめるように話す。



奈良を訪れる観光客は、こういうことを知っているのだろうか。

観光客は、奈良に何を求めてやってくるのだろうか。

観光客は奈良の世界遺産をどう思っているのだろうか。

### 観光客に奈良の世界遺産について聞いてみよう（20時間）

奈良公園や東大寺周辺などで、グループに分かれて世界遺産の保存についての観光客の意識を調査する。(100~150人)

- 奈良にはどんな世界遺産があるか知っていますか？
- 奈良の世界遺産のどこに行かれますか？(行かれましたか？)
- 奈良のよいところはどんなところですか？
- 奈良に来られて困ったことはどんなことですか？
- 奈良の世界遺産をこのまま残すべきだと思いますか？
- 奈良の世界遺産を守っていくために必要なことは何だと思いますか？

など



アンケート調査の結果をまとめ、報告し合う。

- 外国人観光客にもインタビューできるように、質問事項を英訳しておいたり、声のかけ方や質問の仕方などを練習しておきたい。
- 時間が許せば、自分たちが学習した聖武天皇の思いや大仏復興に力をつ



東大寺や薬師寺、興福寺、平城宮跡に興味をもって行っている人が多かったです。

このまま大事に残っていてほしいと思っている人がほとんどでした。

「このまま残す」とは、どういうことだろうか？  
世界遺産であってもその価値がなくなれば、世界遺産ではなくなる。なぜ、そんなことが起こるのだろうか。

- ・酸性雨などの環境問題
- ・自然をこわすような開発の問題
- ・戦争による破壊、火事などの人災
- ・ごみや落書きなどのマナーの問題
- ・自然災害などによる倒壊 など。

「危機遺産」について考えよう（10時間）

【調べ学習】

「危機遺産」について調べよう。  
「危機遺産」から脱した世界遺産もあるよ。

世界遺産が人類の宝物だということが分かっていないのかな。

どうしてこんなことをするのだろうか。あまりにひどいし、なさけない



唐招提寺の壁の落書き

こんなことをしては世界遺産でなくなってしまう！  
世界遺産を「危機遺産」にしてはいけない！

奈良の世界遺産を「危機遺産」にしないために、これからしていかなければならないことは…？

- ・戦争にならないように、平和な世の中にしなければいけない。  
→ 大仏がこわれたのも戦いのせいだったなあ。
- ・火事や自然災害から守る備えが必要だ。

くした人たちの働き、エピソードなどを観光客に伝える場にもしたい。

- アンケート結果をまとめる際には、表計算ソフトなどを使って分かりやすく資料を見せる工夫をさせる。

- 世界遺産の中でも、環境や景観の変化、戦乱などによって「危機遺産」としてリストアップされているものがあることを知らせる。

- 世界各地で起こっている「危機遺産」の様々な問題について調べさせる。

- 実現可能かどうかよりも6年生なりの考えを出させることを大切にする。

- 設備を整えたり訓練をしたりすることが必要だ。
- ・落書きやゴミのポイ捨てについては、取り締まったり罰金をとったりしてもいいのではないか。
  - ・世界遺産の近くはマイカーの乗り入れを禁止してもよい。
    - 奈良市では、観光シーズンにパーク・アンド・ライドを行っているよ。
  - ・この景観を守るためにも奈良の開発に気を付ける必要がある。
    - 景観を守ることは、社会の動きを見守ることなんだ。
  - ・エコライフを実行し、奈良の環境を守ろう。
    - 大仏殿の八角灯籠とうろうのようなことは起こしてはいけない。



自分にできることはどんなことだろう。

- ・奈良のすばらしさ、世界遺産の大切さをもっと知ってもらいたい。
- ↓
- ・地域の人や観光客に伝えたい。

- 自分の生活を振り返って、よりよく生活しているようにする具体的な方策について考えさせたい。

### 奈良のすばらしさや世界遺産の大切さをいろんな人に伝えよう（10時間）

- ◆ 校内で発表会をしよう
- ◆ 地域の集まりで発表しよう
- ◆ 学習の成果をまとめて個別に配布しよう
- ◆ 新聞やちらしを作って観光客に配ろう など。



- より多くの人に知らせることができる具体的な、効果的な方法を考えさせたい。

※ 大仏以外のものを出発点にする例としては、以下のようなものが考えられる。

お水取り・・・1250年以上、一度も途切れることなく続けられる意味

正倉院宝物・・・聖武天皇の死後、大仏に献上した光明皇后の思い

唐招提寺・・・苦難の末に來日し、唐招提寺を開いた鑑真

薬師寺・・・金堂再建のために百万巻写経勸進に取り組んだ高田好胤  
1000年以上耐えうる金堂や西塔を造ろうとした宮大工の西岡常一

興福寺・・・何回も焼失するたびに復興してきた寺や奈良の人々の思い

元興寺・・・浄土曼荼羅を極楽坊に伝えた僧、智光

平城宮跡・・・保存に生涯をささげた棚田嘉十郎や現在も発掘研究されている人たち

春日大社・・・春日若宮おん祭りを870年以上守り続けてきた人々

春日山原始林・・・365日、原始林のパトロールをされている森林管理事務局の方

その他、世界遺産に限らず、地域に残る石碑や建造物、地蔵などを守ってきた人々を取り上げることも考えられる。

## — 作成委員 —

佐々木 義章	大和郡山市立郡山東中学校	校長
植松 利晴	奈良市立済美南小学校	教頭
大西 浩明	奈良市立済美小学校	教諭
滝元 一史	宇陀市立榛原小学校	教諭
白濱 毅	奈良市立富雄中学校	教諭
松本 哲志	奈良県立教育研究所	研究指導主事
山中 充子	奈良県教育委員会事務局学校教育課	指導主事

(作成委員の職名等は平成21年度のものである。)